

ムクドリ (学名: *Spodiopsar cineraceus*)

[スズメ目 ムクドリ科]



▲雪どけの草地に集うムクドリ



▲電線に並ぶつがいのムクドリ(上メス、下オス)

ムクドリは、全国に分布し、多くの地域では一年中見られる鳥です。只見町では、春から秋にかけては頻りに目にする鳥ですが、晩秋になるとほとんど見かけなくなります。どこに移動するのか正確にはわかりませんが、食べ物がとりやすい雪の少ない場所に移動しているのだと考えられます。しかし、雪が落ちてく3月上旬ころから徐々に姿を見かけることが多くなります。雪がとけて土が現れた草地や田畑では、トコトコと歩きながら土からでてきた虫などの食べ物を探しています。家々の間の電線では、つがいになったオスとメスが並んでとまっています。いずれも春の訪れを告げる風景です。

只見町の方言では、ムクドリは「げーげーどり」「ちゅーま」と言います。集落や田畑といった人がくらす平地に生息しており、奥山で見かけることはありません。自然界では木の洞などに巣を作りますが、家屋の屋根や雨戸の隙間など人工環境にもよく営巣します。6月頃には、巣立ちビナを見るようになりますが、お尻の毛が生えそろうない姿を只見町の方言では「たんぼげす」と言うそうです。私たちにとても身近な鳥です。

企画展

「守りたい！只見の野生動植物

—只見町の野生動植物を保護する条例—

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

プラナセンター講座

「野生動植物を守るために—生物多様性保全の科学と社会学」

日 時:3月31日(土) 13:30~15:30

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

講 師:黒沢高秀氏(福島大学共生システム理工学類・教授)

自然観察会

「冬のブナ林と動物たち」※要事前申込

期 間:3月18日(日) 10:00~12:00(9:30集合)

場 所:ただみ観察の森「下福井のブナ水源林」

※詳しくは3月2日発行の「おしらせばん」

またはプラナセンターホームページをご覧ください。

詳しくは、
只見町プラナセンター
までお問い合わせ
ください